

## 第2回岩泉町東日本大震災復興委員会議事録

### 議事

三浦室長】震災復興地域懇談会等の状況について、別添資料 No.3、No.4 により説明。

應家総括室長】多重防災に係る防災施設の強化（案）について、別添資料 No.1 により説明。

委員】この計画に基づいていけば、今回の津波は防げるか？

應家総括室長】シミュレーションをやってみないと何とも言えないが、多重防災によって避難の時間を稼ぐことができると考えている。

委員】工事はいつ始まるのか？いつ津波がくるかわからないので早く始めて欲しい。

畠山政策推進課長】今は詳しくは言えないが、できるだけ早く始めたい。

いわて絆共同提案体】居住地・公共施設等の移転先（案）について、別添資料 No.2 により説明。

委員】水門が閉まらなかったり、想定外の津波が来る可能性があるのでソフト面の対策も重要。

漁業者は浸水区域内に戻る可能性もある。土地利用の考え方を地域の皆さんで考える必要がある。基本計画の中でうたってもらえればと思う。

委員】高台の移転候補地の高さはどのくらいか？

畠山政策推進課長】カモイカ、豊岡は約 140m。

委員】高台の地区が国立公園等に指定されているが大丈夫か？

いわて絆共同提案体】復興特区に指定して、規制を解除すれば大丈夫ではないか。

委員】 山を削る場合、法面の災害危険地域規制を解除できるか？

いわて絆共同提案体】 今後協議する必要がある。

委員】 万が一の時、避難しなくてもいい所に居住地・学校を。

法面等災害の危険性がある場所・災害の時、孤立してしまう場所は候補から削除すべき。

漁港、国道、旧小本地区へのアプローチ・日当たり等も検討すべき。

委員】 住民による仮設内の懇談会をやってない。小本団地の意見を集約したいと思っている。家がある人、ない人で温度差があるので分けてやりたいと思っている。

委員】 漁業権の問題があり、移転先は小本と中野の希望者が多い。

委員】 腰廻は用地交渉(単価が高い)が難しいので不可能ではないか。

宅地を集約するか分散するかが問題。修理して住んでいる人38世帯をどうするか。若い人たちはみんな仮設にいる。夜だと避難が難しい。安全地帯へ移転するべきでないか。

委員】 小本の学校の生徒数を教えて欲しい。

八重樫教育次長】 小学校76人、中学校38人、保育園32人です。

委員】 中学校の人数が少ないが、統合は考えられないか？

三上教育長】 今の岩泉町になるとき統合した旧6村の小・中学校は残す方針。また、1クラスを1学年で形成できれば存続するというのが町の方針である。

委員長】 移転先に関する住民との話し合いについてはどうか。

畠山政策推進課長】 住民との話し合いは方向性を決めてから入りたい。

委員会としての意見を今日まとめたい。

委員】 浸水区域内には住まない方がいい。また、高台は将来大変だと思ふ。

腰廻に漁業者を優先して入居させ、中島に住宅・学校をもってくるのがいいと思ふ。

委員】 漁業権の範囲はどこまでか？

委員】 小本、中野、茂師、小成の住民としているが、変更できる。ただし、1世代のみとか、制限をつける必要があるかもしれない。

委員】 方向性としては、浸水区域には建てないという方がいいのでは。

委員】 修繕して住むという人が多いが、その人達は漁業者が多い。漁業をしたい人は海の近くに住まなければならないというのではなく、ある程度柔軟にする必要があるのではないか。

懇談会の結果等から、移転先についてはある程度、色があるのではないか？

畠山政策推進課長】 本部、事務局としては、保育園、小・中学校は併設したい。

170戸すべて同じ場所は難しいので、いくつかの場所から選択してもらうことになると思う。

腰廻地区（小本駅周辺で小中・住居を一体でできる）、中里地区（町有地がある）、豊岡地区（高台で安全）の3か所を考えている。

豊岡地区は道路が複数あり、災害時に孤立することはない。

委員】 中島地区はどうか？

畠山政策推進課長】 良好な農用地を潰すことになるので難しいと考えている。

委員】 被災した小本地区に住む人もいると思う。

畠山政策推進課長】 多重防災を施せば小本地区も安全地帯になり得るので、小本地区も居住地の候補としてあがっている。

委員】 中野もかさ上げすれば安全性を確保できるのではないか。

委員】 今残っている人は仕方がないが、新築を許可すると、整合性がとれないのでは。

委員】 小本は他の被災地区と違い海の正面にある集落ではない。少し手をかければ安全な場所と考えている。

畠山政策推進課長】 8月11日に第3回復興委員会の開催を予定している。

復興委員会及び住民との懇談会の内容を組み込んでもう一度骨子案を作成する予定だ。

畠山政策推進課長】以上で第2回岩泉町東日本大震災復興委員会を終わります。ありがとうございました。